

# 建築文化賞

高齢者・障害者等に配慮した建築物

建築主：社会福祉法人 豊和会  
設計：株式会社 榎本建築設計事務所  
施工：佐藤工業株式会社千葉営業所

ユニットケアが実現した家庭的環境

## 高齢者福祉施設 杜の家

所在地：香取郡栗源町岩部869-60



東南側外観

緑に包まれたクリーム色の建物は、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスの3つの機能を、中庭を囲む2階建てプランに収めている。四周がガラスの中庭は、施設全体を結びつけると同時に、道路側から楔状に入り込む庭と廊下を隔ててつながり、四季折々の自然を建物の中心に導いている。

建物の道路側1階は、縦長のスリットを持つスクリーンでプライバシーを確保し、2階に廊下状のテラスをとっている。正面にあたる北側2階は大きな壁面だが、1階の玄関脇がガラス張りになっており、来訪者に開放的な表情を見せている。

定員50人の特別養護老人ホームは従来型の多床室が主体で、その点や物足りないが、家庭に近いケアを提供したいという建築主の希望を受け、全体を6~7室ごとの3つのユニットに分ける構成をとっている。各ユニットはキッチン付食堂を中心に編成されており、折れ曲がりの多い廊下には談話コーナーや坪庭が配され、長屋の路地を思わせる雰囲気醸成している。中庭に面した明るい食堂でくつろぐお年寄りの姿は、住み慣れた家に住み続けるように暮らして欲しいという建築主と設計者の思いを映しているようである。

施設運営には地域のボランティアが積極的に協力しているという。ハードとソフト両面で、地域に根づいた施設として成長することを期待したい。  
(北原理雄)



ユニットごとに分けられた食堂を中庭より望む



玄関ホール前の談話コーナー